

## 令和4年度 第8回SD研修会報告(FD・SD合同研修会)

内容	障がいのある学生に対する配慮および支援
受講期間	令和5年2月13日(月)13:30~14:30
場所	2号館307教室
講師	宮崎大学障がい学生支援室 楠元和美 准教授
参加者	Faculty: 27人 Staff: 22人
内 容	
<p>「障がいのある学生に対する配慮および支援」と題して、宮崎大学障がい学生支援室 楠元和美 准教授から資料に基づいて説明が行われた。以下が講演の主な内容である。</p> <p>(1) 私立大学の状況</p> <p>日本の大学学部生全体の80%は私立大学に在籍している。今後、私立大学における障がい学生の割合も増えていくことが予想される。</p> <p>障がい者が受ける制限は、障害のみに起因するものだけでなく、社会的障壁と相対することによっても生ずる。この社会的障壁を除去するために、合理的配慮を行なう必要がある。</p> <p>(2) 大学での合理的配慮</p> <p>“肢体不自由・聴覚障がい・視覚障がい・学習障がい・発達障がい”の学生から相談があった際にどのような手順を踏み、具体的な支援方法を考えていくのか等、宮崎大学での例を取り上げて説明があった。障がい学生からの相談を受ける際には、建設的対話(本人の意思を尊重し、信頼関係を築く姿勢)を心掛け、教育の本質を変更せずに“方法”を変更する等し、柔軟に対応する必要がある。</p> <p>(3) 障がいのある学生の自立</p> <p>福祉分野における“自立”とは、「自己決定に基づいて主体的な生活を営むこと」「障がいを持っていてもその能力を活用して社会活動に参加すること」を意味する。これから社会に出ていく学生の自覚と応用能力を育てるため、大学側の支援の仕方についても考えていく必要がある。</p> <p>本学では現在、障がいのある学生は在籍していないものの、今後多様な学生の入学が予想されることから、本講演(研修)は将来に向けての対応を準備する上で貴重な講演となった。</p>	
備 考	
本年度最後の研修会となった。	
次回SD研修会の日程	
次年度(令和5年度)研修会の計画は、宮崎国際大学FD・SD専門委員会により、令和5年4月以降に決定される予定となっている。	